

## えそらごと

Fanciful and ephemeral dreams

KUNST ARZT では、前野藍の個展を開催します。  
前野藍は、詩情豊かで、どこか懐かしい感じのする半立体的世界を生み出すアーティストです。独特の描写センスで描き出される無国籍な絵が、仕掛け絵本に見られる手法を取り入れた、巧みなペーパークラフト加工によって、唯一無二の世界となり立ち現れます。本展は、ひとつの絵が繰り返すことで無限に絵が広がっていく模様や、建築資材であるタイルから着想を得た作品などから構成する予定です。

(KUNST ARZT 岡本光博)



きりおりのもよう  
しかけ絵本 2022

### 略歴

1981年 京都生まれ  
2000年 京都市立銅駝美術工芸高等学校卒業  
2016年～ 独学でしかけ絵本（ポップアップ絵本）やアートブックを作り始める  
2019年～ かみかけら工房として活動、紙もの雑貨の制作も行う

### 個展

2019年 かみかけら工房の空想文房具展 \* 宇路雑貨店（京都）

### グループ展

2016年～毎年	BookArt 展	山崎書店（京都）
2019年	Book lovers	MOTOYA Book Cafe Gallery（東京）
2020年～毎年	Book+	MOTOYA Book Cafe Gallery（東京）
2019年～2021年	K2 展	京都市美術館 別館（京都）

2022年8月30日（火）から9月4日（日）

12:00 から 18:00 月休

会 場 : KUNST ARZT

605-0033 京都市東山区夷町 155-7 2F

アーティスト・ステートメント ・ 展覧会コンセプト

幼い頃から紙が好きで絵を描いたり本の真似事のようなものを作っていました。ポップアップカードを初めて作ったのは小学生の頃です。

作品を見て、なにかのお話を元に絵を描いているのですか、と訊ねられます。また、なんとなく懐かしい感じがする、とも言われます。小説や童話などを元に作品を作ることありますが、だいたいはなんとなく心の中にあるものが表現のもとになっています。ラジオから流れてくる歌の歌詞、適当に流し読んだ小説の断片、新聞に載ってた写真のぼんやりした記憶、本屋で立ち読みした絵本、そういう日常のかけらが集まってできています。どこにでも、誰でも目にするものだから、その人の思い出とリンクして物語を感じてもらえるのかもしれない。

今回は自由に空想を広げ、雲を作ることにしました。雲に乗れたら何しようという空想、好きなものを詰め込んでいます。

コレクターの棚や保管箱の中で静かに眠っている作品ではなく、100年後にガラクタ市で色々なモノに紛れて置いてあるような色褪せたモノになることが私の作品の目標です。その時に、もとの主人に大事にされていた雰囲気を感じていければ、作家として幸せだなと思います。



パピエチュイール 2021



パピエチュイール 2021



カケラノオト 2020  
しかげ絵本



ハルノオト 2020  
しかげ絵本